



第2回セミナー「水素エネルギーって何だろう!？」

市街地整備課F-REI立地室 ☎0240(23)6927 ✉namie-suk@town.namie.lg.jp

浪江町で先行している水素の取組や、F-REIの研究テーマの一つである「エネルギー」においてF-REIが想定する水素エネルギー関連の研究について説明する講座です。

皆さまのご参加をお待ちしています。

- ▶日 時 8月20日(日) 10時～11時
- ▶会 場 秋桜アリーナ 会議室
- ▶定 員 50人(参加費無料)
- ▶対 象 浪江町民
- ▶申込方法 電話またはメール



第1回セミナーの様子

福島国際研究教育機構施設の在り方に関するアドバイザー会議を開催

市街地整備課F-REI立地室 ☎0240(23)6927

6月26日(月)、ふれあい福祉センター内の福島国際研究教育機構(略称:F-REI)会議室において復興庁主催の「福島国際研究教育機構施設の在り方に関するアドバイザー会議」が開催されました。会議では、復興庁から周辺環境や関連計画などのF-REIを取り巻く現況を説明した後、「周辺環境や景観に配慮したまちづくり」や「親しみやすい施設づくり」などの施設整備の方向性(案)が提示されました。

各委員からは「敷地周辺との関係は重要。特に駅からの歩行者動線など浪江町が進める整備との連携を考慮すべき」「町民の親しみやすい施設とすることは必要だが、一方で研究施設としてのセキュリティも考慮すべきで、そのバランスは重要になる」との意見が挙がりました。

復興庁では、施設整備の方向性(案)に基づき、令和5年度中に、F-REIの施設基本計画を取りまとめる予定です。

会議終了後は、各委員が町内の視察を行い、町が進める復興まちづくりの考え方を成井祥副町長から説明をした後、F-REIと浪江駅周辺との連携などについて吉田栄光町長との意見交換を行いました。



アドバイザー会議の様子



各委員と吉田栄光町長らと意見交換会の様子

よい仕事おこしフェア実行委員会と連携協定を締結

産業振興課産業創出係 ☎0240(34)0248

6月23日(金)、道の駅なみえにおいて「よい仕事おこしフェア実行委員会」と「包括的連携に関する協定」を締結しました。

本協定は地域の活性化と産業の振興を図るため相互に協力し、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

協定式において吉田栄光町長は町内事業者の販路拡大や特産品のPRに期待を寄せ、「まちづくりのパートナーとして末永いお付き合いをお願いしたい」と述べ、実行委員事務局の城南信用金庫の川本恭治理事長は「日本中の皆さんに来ていただけるような浪江町を目指していく」、実行委員のあぶくま信用金庫の太田福裕理事長は「浪江町の発展のため支援を続けていきたい」と表明しました。また、浪江町出身の城南信用金庫馬込支店の鈴木桂子専任調査役も同席し「浪江町のためにお役に立てることがあれば全力で頑張らせていただきたい」と抱負を述べました。



(左から)太田福裕理事長、吉田栄光町長、鈴木桂子専任調査役、川本恭治理事長

福島RDMセンターがグランドオープン

産業振興課産業創出係 ☎0240(34)0248

6月30日(金)、會澤高圧コンクリート株式会社(南産業団地)に建設した研究開発型生産施設「福島RDMセンター」がグランドオープンしました。

式典では、竹谷とし子復興副大臣をはじめ関係者が出席し、會澤祥弘社長と吉田栄光町長とともにテープカットを行いました。會澤祥弘社長は「浜通りの復興に向け、イノベーションを起こす。地域に開かれたセンターにしたい」と抱負を述べました。



開所を祝うテープカット

岡山県赤磐市、浪江町の地域活性化包括連携事業『宇宙秋桜(コスモス)の種』贈呈式開催

企画財政課企画調整係 ☎0240(34)0240

7月10日(月)、浪江町役場において浪江町教育委員会と岡山県赤磐市教育委員会が「宇宙秋桜の種」贈呈式を行いました。

両市町は地域活性化包括連携協定を締結しており、連携事業の一環として、浪江にじいるこども園の園児が育てた「宇宙秋桜の種」を赤磐市教育委員会に贈呈しました。

赤磐市坪井秀樹教育長は「両市町の将来を担う子供たちがお互いの理解を深められる交流に繋がってほしい」と期待を寄せました。



浪江町 笠井淳二教育長(左)から赤磐市 坪井秀樹教育長(右)へ宇宙秋桜の種を贈呈

特定復興再生拠点区域外への帰還意向調査を 締め切らせていただきます

☎ 企画財政課企画調整係 ☎ 0240(34)0240

令和4年11月30日から令和5年1月15日にかけて、町と内閣府共同で実施させていただいた特定復興再生拠点区域外の帰還意向調査について、締切以降も受け付けをしていましたが、8月31日(木)必着をもって、今回の帰還意向調査への回答を締め切らせていただきます。今後はいただいた回答をもとに、除染の範囲などの具体的な検討を行っていきますので、ご理解のほどよろしくお祈いします。

なお、帰還意向調査は今後も複数回実施を予定していますので、詳細につきましては広報などで随時お知らせします。

帰還意向調査について

●調査対象者

浪江町の帰還困難区域に平成23年3月11日時点で住民登録されていた人のうち、同区域に土地または建物を所有されている人と、その人と同居されていた親族の人

●問 合 せ

8月31日(木)までは引き続き回答を受け付けています。また、9月1日(金)以降も平日(祝日除く)は問い合わせセンターの営業を行っておりますので、ご不明点などは、以下の問い合わせセンターへご連絡ください。

「帰還意向調査」
問い合わせセンター

☎ 0120(171)311
受付時間 8時30分～17時15分(平日のみ)

集 計 結 果

意向調査票 世帯ごとの送付・回収状況および概要 (6月30日(金)時点)		
	実 績	備 考
送付：発送数(部)	1,028	
世 帯 数 (世帯)	757	
返 送 世 帯 数	429	
帰還希望あり	229	※1人以上が帰還希望ありの世帯数
営農意向あり	115	
営農意向なし	27	
そ の 他	87	※営農意向保留、農地所有なしなど
帰還希望なし	118	※世帯員全員が帰還希望なしの世帯数
保 留	82	※帰還希望者0人かつ1人以上が保留の世帯数

※世帯員が分かれてお住いの場合、意向確認漏れを防ぐため、それぞれのご住所へ帰還意向調査書類を送付させていただいているため、世帯数と発送数は一致していません。

※営農のご意向については、帰還希望ありと回答いただいた世帯にのみお伺いしています。